

## 第3学年 算数科学習指導案

日時 平成16年10月22日(金) 1校時  
学年 3学年 男11名 女13名 計24名  
指導者 田中淳子

### 1 単元名

かけ算のしかたを考えよう

### 2 単元の目標

筆算形式による2, 3位数に1位数をかける乗法計算の仕方について理解し, それを用いる能力を伸ばす。

- 〔関心・意欲・態度〕 ・筆算形式による2, 3位数×1位数の計算の仕方を, 既習の乗法計算の仕方をもとに考えようとする。
- 〔数学的な考え方〕 ・筆算形式による2, 3位数×1位数の計算の仕方を, 数の構成や十進位取り記数法をもとに考える。
- 〔表現・処理〕 ・2, 3位数×1位数の計算を筆算で正確にできる。  
・乗法の結合法則を計算に用いることができる。
- 〔知識・理解〕 ・2, 3位数×1位数の筆算の仕方を理解する。  
・乗法の結合法則を理解する。

### 3 単元について

#### (1) 本単元の基礎・基本

- ・2, 3位数×1位数の筆算の仕方を理解する。
  - ・2, 3位数×1位数の筆算を正確にできる。
- 以上二つを本単元の基礎・基本と考える。

#### (2) 教材について

3年生は, これまでに乗法九九については2学年で学習している。さらに, 本学年ではその後を受けて, 第1単元で, 乗法九九についての理解をまとめたり, 乗法の交換法則や, 乗数が1ずつ増減するときの乗数と積の変化の関係について学習したりしてきている。

本単元では, まず被乗数が何十, 何百の乗法(20×3や300×5など)の計算の仕方を学習する。何十, 何百に1位数をかける計算が, 10や100を単位とした1位数どうしの乗法に帰着させる計算の仕方を理解し, その計算ができるようにする。次に, 2, 3位数×1位数の計算の考え方, 筆算の仕方について学習する。計算の原理理解に基づき筆算形式を導入し, 計算の考え方と筆算の手順とを結びつけていく。いずれにしても, 形式のみを覚えこませるのではなく, そのもとになる計算の原理の理解を確実にした上で形式を獲得させることをねらいとしている。なお, その際に下記の事項についての理解を深めるようにしている。

- ・十進位取り記数法の原理の理解を基本とし, 事実にして分配法則の考えを用いること
- ・乗法の(基準の大きさ)×(基準の大きさを単位とした数)という意味の理解を深めること

2, 3位数に1位数をかける計算は, 本学年の第13単元の2位数どうしをかける計算の基礎にあっているので, 計算の原理や手順を確実に理解するとともに, 技能的にも十分高めておくことが必要だと考えられる。

#### (3) 児童の実態

3年生は, 計算問題には進んで取り組もうとするし, 乗法九九は, すばやく計算できる児童が多い。しかし, 文章題からの立式, 理解するまでの時間や作業の速さ, 計算技能には大きな差が見られる。また, 10の段や11の段など九九表にないかけ算を考える活動では, ほとんどの児童

が進んで取り組むことができた。しかし、自力解決の際に既習事項を生かして解決方法の見通しを考えたり、解決方法を説明したりすることは「算数アンケート」の結果からも苦手に思っている児童が多い。

レディネステストの結果を見ると、既習の乗法の計算は、ほとんどの児童が正しく行うことができている。乗法の交換法則や乗数と積の変化の関係についての問題では、正答できない児童が3～4名(12～16%)いた。

P1テストの結果は、文章題からの立式ができた児童が17～19名ほどいたが、立式と計算が正しくできた児童はほとんどいなかった。また、乗法の筆算に関しては、ほとんどの児童が予備知識がなく、計算方法の予想もできなかった。

#### (4) 指導にあたって

第1小单元では、何十、何百に1位数をかける計算を、既習の1位数どうしの乗法の計算に帰着して計算する方法を理解させる。自力解決の見通しとして、被乗数の構成についての理解を基礎に、何十、何百を10、100を単位としたまとまりとしてとらえられるように図や模擬貨幣を用いて具体的に示し、児童に既習の乗法九九や $10 \times 1$ 位数の乗法計算を用いて計算できることに気づかせ、自力解決させる。

第2小单元では、2位数 $\times$ 1位数の計算の考え方、筆算の仕方について学習する。実質的に2位数 $\times$ 1位数の式が登場する最初の段階なので、自力解決の見通しとして、被乗数の23を20と3に分解して「20の段+3の段=23の段」という分配法則の考えを教科書の図解と対比させて計算の原理を考えさせ、筆算の手順とを結びつけて自力解決させ理解の徹底を図る。また、繰り上がりのある計算では、各位の計算をしてから繰り上げた数をたすことを、計算手順を言わせたり部分積を一つ一つ書き込ませたりしながら理解させる。

第3小单元では、3位数 $\times$ 1位数の計算の考え方、筆算の仕方について学習する。自力解決の見通しとして、既習の2位数 $\times$ 1位数の筆算の仕方をもとに、被乗数を位ごとに分けて考えさせ、けた数が増えても同じ手順で計算できることに気づかせ、自力解決させ、筆算の手順をまとめていく。また、繰り上がりのある計算では、各位の計算をしてから繰り上げた数をたすことを、計算手順を言わせたり部分積を一つ一つ書き込ませたりしながら理解させる。なお、この単元の最後に、乗法の結合法則を取り上げるが、具体的な場面を背景にしてどういう考え方で計算しているのかを十分理解させて、計算が簡単になる結合法則のよさに気付かせる。

まとめの小单元の「れんしゅう」では、2、3位数 $\times$ 1位数の筆算や3口の乗法の計算の習熟を図る。筆算の手順の虫食い問題や筆算の誤りを訂正する「たしかめ」や答えの見当をつける「チャレンジ」では、理解の深化を図る。

この単元の学習を通して、児童は、筆算の手順の説明は「 位を縦にそろえて書く」「一の位の計算をする」「十の位の計算をする」「百の位の計算をする」の4つにまとめられることに気づいていく。そこで、毎時間この言い方を手がかりに見通しをもたせ、自力解決に向かわせたい。これにより、計算手順を考えたり発表したりすることが容易になると考えられる。児童一人一人が既習事項をもとに自力で計算手順を考え、それを順序よく発表できるようにさせ、自力解決や発表することに自信をもたせるようにする。さらに、筆算の計算手順の定着を図るため、2位数 $\times$ 1位数、3位数 $\times$ 1位数の計算を再度練習する時間をそれぞれの小单元の中に1時間ずつ設け、計算の型ごとに分類して練習させる。

#### (5) 習熟度に考慮した指導について

乗法の筆算についての学習は初めてであり、どの児童にも計算の原理と手順をよく理解させ、正確に計算ができるようにさせるために、習熟度を考慮しながらドリルの学習を以下のように取り組ませる。

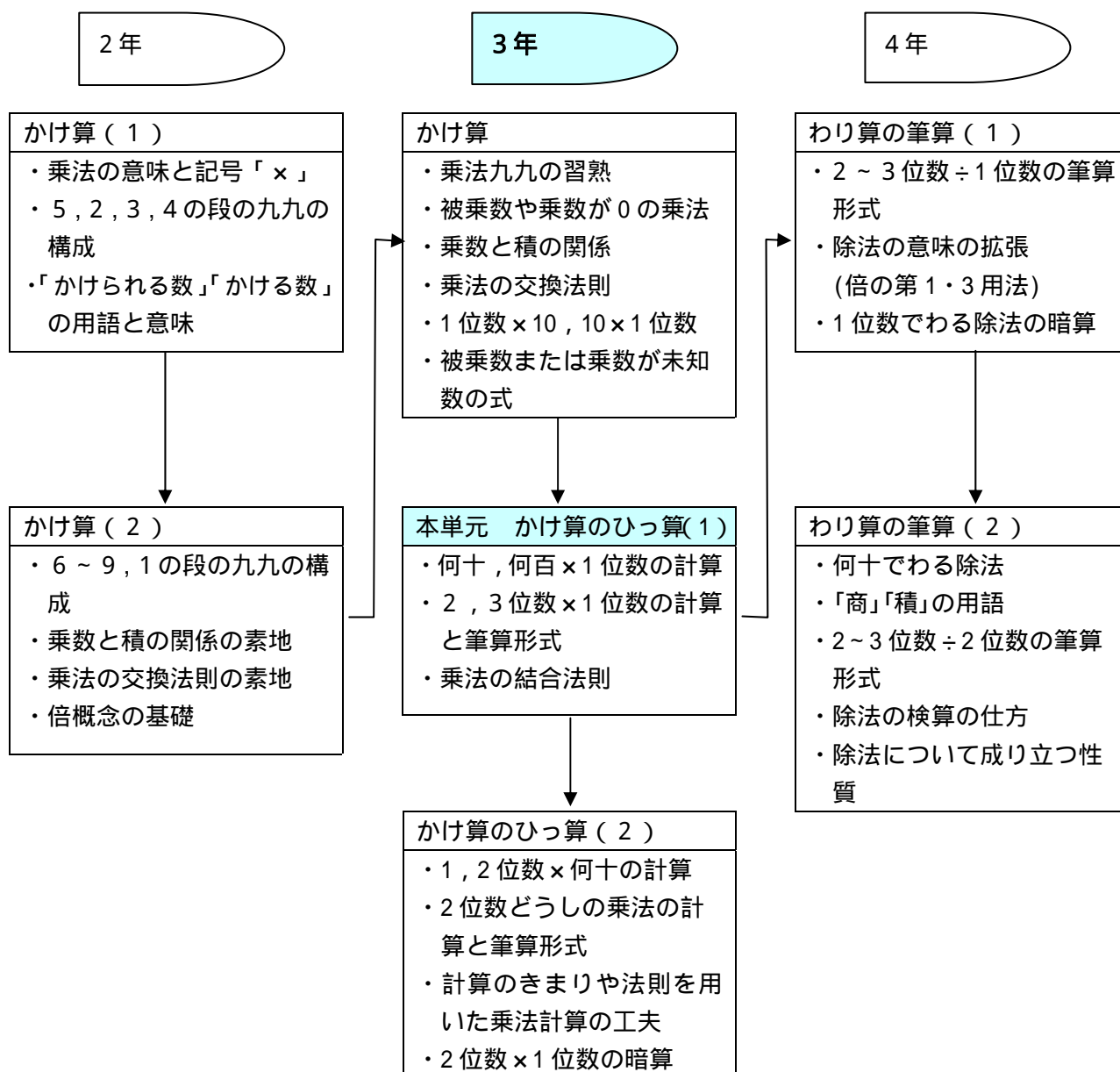
ア この単元を通して、位取り板に合わせた図や部分積を書き込ませる筆算形式と「 位を縦にそろえて書く」「一の位の計算をする」「十の位の計算をする」「百の位の計算をす

る」の計算手順を常に対応させる。さらに、位ごとに計算していくことや繰り上げた数の処理の仕方を理解させながら計算に取り組みさせていく活動を取りいれて、ドリル的学習を行う。

イ 原理理解や拡充の場面では、習熟の程度によって次のように考えた。自力解決が困難な児童には、位取り板に合わせた図や部分積を書き込ませる筆算形式を用いて、筆算の計算手順に慣れさせていく。また、達成状況が十分と思われる児童には、筆算をさせ、次に計算手順に当てはめて自分の計算方法を確認させたり、計算手順を友達に分かるように説明したりできるようにさせる。

ウ 習熟の場面では、いろいろな型の問題を計算手順を言いながら計算させたり手順そのものを書かせたりすることで、理解や習熟の程度をしっかりと把握しながら指導していく。努力を要すると思われる児童には、位取り板に合わせた図や部分積を書き込ませる筆算形式を用いて、繰り上がった数の処理の仕方を確認させ、どの計算も正しく理解し、しっかりと計算できるようにしていく。また、達成状況が十分と思われる児童には、問題数を多くしたり答えの見当をつけてから計算をさせたりして、理解と計算能力を高める。

#### 4 教材の関連と発展



5 単元指導・評価計画・・・15時間(13+2)

時	目標	学習活動 (は主な活動)	評価規準	主な具体の評価規準	努力を要する場合の 支援の手立て
(1) 何十, 何百のかけ算 2時間 下p.2~4			おおむね満足できる(B)		
1	何十, 何百に1位数をかける乗法計算の仕方を理解し, その計算ができる。	20×3の計算の仕方を考える。	考何十, 何百×1位数の計算を, 1位数×1位数の計算をもとにして考えている。 (発表・観察)	考20×3の計算の仕方を2×3をもとに考えることができる。  10円玉で考えると20は10円玉2個となるから, 2×3=6 これは10円玉が6個だから, 答えは60。	考模擬貨幣を使い, かけられる数が10円玉で考えると何個分か考えさせ, 10を単位として考えさせる。
2		300×5の計算の仕方を考える。  ・【ドリル的学習】	表何十, 何百×1位数の計算ができる。 (プリント) 知何十, 何百×1位数の計算の仕方を理解している。 (プリント・発表)	考300×5の計算の仕方を3×5をもとに考えることができる。  100円玉いくつか分で考えると3×5=15で, 100円玉15個という意味だから1500。	考模擬貨幣を使い, かけられる数が100円玉で考えると何個分か考えさせ, 100を単位として考えさせる。
(2) 2けたの数に1けたの数をかける計算 6時間 下p.5~9					
1	2位数×1位数(部分積がみな1けた)の筆算形式の仕方を理解し, その計算ができる。	・場面を見て, 立式について考える。 23×3の計算の仕方を模擬貨幣を使ったり数操作をして考え, 答えを求める。 筆算の仕方をまとめる。	関2位数×1位数の筆算の仕方を既習の乗法九九などをもとに考えようとしている。(プリント・観察) 考2位数×1位数の筆算の仕方を, 既習の乗法九九に帰着して考えている。 (発表・観察) 知2位数×1位数(部分積がみな1けた)の筆算の仕方を理解している。 (プリント・観察)	考23×3を位ごとに分けて, 九九を使って筆算の仕方を考えることができる。  20×3=60, 3×3=9, 60+9=69  知23×3の筆算の仕方を言うことができる。  ・位を縦にそろえて書く。 ・一の位から計算し3×3=9の9を一の位に書く。 ・次に十の位を計算し3×2=6の6を十の位に書く。	考筆算でも23×3を20×3, 3×3とそれぞれの位ごとに計算していることを教科書P.6の下の図と合わせて示して気づかせる。  知位取り板や部分積を一つ一つ書く筆算形式で考えさせ, 手順を理解させる。

2		<p>かけ算の筆算形式による計算の仕方を確認し、練習をする。</p> <p>・【ドリルの学習】</p>	<p>表 2位数×1位数(部分積がみな1けた)の筆算ができる。(プリント)</p>	<p>表 32×3の筆算の仕方が分かり、正確にできる。</p> $\begin{array}{r} 32 \\ \times 3 \\ \hline 96 \end{array}$ <p>「三二が6」の6を、一の位に書く。 「三三が9」の9を、十の位に書く。</p>	<p>表 32×3の筆算ができるようにするために、部分積を一つ一つ書く筆算をするように「それぞれの位の計算の答えを書きましょう」等の助言する。</p>
3	<p>2位数×1位数(一の位の数との部分積が2けた)の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。</p>	<p>1辺16cmの正方形の周長を求める式を考え、その計算を筆算でする仕方を考える。</p>	<p>知 2位数×1位数(一の位の数との部分積が2けた)の筆算の仕方を理解している。(プリント・発表)</p> <p>表 2位数×1位数(一の位の数との部分積が2けた)の筆算ができる。(プリント)</p>	<p>表 28×3の筆算の仕方が分かり、正確にできる。</p> $\begin{array}{r} 28 \\ \times 3 \\ \hline 84 \end{array}$ <p>「三八 24」の4を、一の位に書き、2を十の位に繰り上げる。 「三二が6」の6に、繰り上げた2をたして8。8を十の位に書く。</p>	<p>表 28×3の筆算を正しく計算するために、位取り板や部分積を一つ一つ書く筆算形式で考えさせ、十の位の計算をしてから繰り上げた数をたすことを再度確認させる。</p>
4	<p>2位数×1位数(十の位の数との部分積が2けた、及び部分積がみな2けた)の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。</p>	<p>42×3、58×3の筆算の仕方を考える。</p> <p>筆算の仕方をまとめる。</p> <p>・【ドリルの学習】</p>	<p>知 2位数×1位数(十の位の数との部分積が2けた、及び部分積がみな2けた)の筆算の仕方を理解している。(プリント・発表)</p> <p>表 2位数×1位数(十の位の数との部分積が2けた、及び部分積がみな2けた)の筆算ができる。(プリント)</p>	<p>知 42×3の筆算の仕方を言うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3×2=6の6を一の位に書く。</li> <li>・3×4=12の2を十の位に書く。</li> <li>・百の位に1を繰り上げる。</li> <li>・繰り上げた1を百の位に書く。</li> </ul> <p>58×3の筆算の仕方を言うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3×8=24の4を一の位に書く。</li> <li>・十の位に2を繰り上げる。</li> <li>・3×5=15に繰り上げた2をたして17。7を十の位に書く。</li> <li>・百の位に1を繰り上げる。</li> <li>・繰り上げた1を百の位に書く。</li> </ul> <p>表 83×2、79×3の筆算の仕方が分かり、正確にできる。</p> $\begin{array}{r} 79 \\ \times 3 \\ \hline 237 \end{array}$ <p>「三九 27」の7を、一の位に書き、2を十の位に繰り上げる。 「三七 21」21に2をたして23。23の3を十の位に、2を百の位に書く。</p>	<p>知 部分積を一つ一つ書く筆算形式で考えさせ、繰り上がりを正確に捉えさせる。</p> <p>表 83×2、79×3の筆算を正しく計算するために、繰り上げた数を書く場所や、十の位の計算をしてから繰り上げた数をたすことを再度確認させる。</p>

5	2位数×1位数(部分積を加えたときに百の位に繰り上がりあり)の筆算の仕方を理解し,その計算ができる。	29×4 や 75×4 の筆算の仕方を考える。 ・【ドリルの学習】	<p>知2位数×1位数(部分積を加えたときに百の位に繰り上がりあり)の筆算の仕方を理解している。 (プリント・発表)</p> <p>表2位数×1位数(部分積を加えたときに百の位に繰り上がりあり)の筆算ができる。 (プリント)</p>	<p>知29×4の筆算の仕方を言うことができる。</p> <p>・4×9=36の6を一の位に書き、3を十の位に繰り上げる。 ・4×2=8に繰り上げた3をたして11。1を十の位に書き、百の位に1を繰り上げる。 ・繰り上げた1を百の位に書く。</p> <p>75×4の筆算の仕方を言うことができる。</p> <p>・4×5=20の0を一の位に書き、2を十の位に繰り上げる。 ・4×7=28に繰り上げた2をたして30。0を十の位に書き、百の位に3を繰り上げる。 ・繰り上げた3を百の位に書く。</p> <p>表16×8, 35×3, 58×9, 78×9の筆算の仕方が分かり,正確にできる。</p> <p>主な例</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="text-align: right;">78</td> <td>「九八 72」の2を一の位に書き、7を十の位に繰り上げる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">x 9</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">702</td> <td>「九七 63」63に7をたして70。70の0を十の位に、7を百の位に書く。</td> </tr> </table>	78	「九八 72」の2を一の位に書き、7を十の位に繰り上げる。	x 9		702	「九七 63」63に7をたして70。70の0を十の位に、7を百の位に書く。	<p>知部分積を一つ一つ書く筆算形式で考えさせ、繰り上がりを正確に捉えさせる</p> <p>表16×8, 35×3, 58×9, 78×9の筆算を正しく計算させるために、繰り上がった数を書く場所や計算手順を再度確認させる。</p>
78	「九八 72」の2を一の位に書き、7を十の位に繰り上げる。										
x 9											
702	「九七 63」63に7をたして70。70の0を十の位に、7を百の位に書く。										
6 本 時	学習内容に習熟する。	1～5時までで学習した筆算問題の練習をする。 【ドリルの学習】	<p>表2位数×1位数(繰り上がりあり)の筆算の仕方が分かり,正確にできる。 (プリント・観察)</p>	<p>表2位数×1位数(繰り上がりあり)の筆算の仕方が分かり,正確にできる。</p> <p>主な例</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="text-align: right;">82</td> <td>「九二 18」の8を一の位に書き、1を十の位に繰り上げる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">x 9</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">738</td> <td>「九八 72」72に1をたして73。73の3を十の位に、7を百の位に書く。</td> </tr> </table>	82	「九二 18」の8を一の位に書き、1を十の位に繰り上げる。	x 9		738	「九八 72」72に1をたして73。73の3を十の位に、7を百の位に書く。	<p>表2位数×1位数(繰り上がりあり)の筆算を正しく計算させるために、部分積を書く筆算形式を用いて、繰り上がった数の処理の仕方を確認させながら計算させる。</p>
82	「九二 18」の8を一の位に書き、1を十の位に繰り上げる。										
x 9											
738	「九八 72」72に1をたして73。73の3を十の位に、7を百の位に書く。										
(3) 3けたの数に1けたの数をかける計算 5時間 下p.10～13											

1	3位数×1位数(部分積がみな1けた)の筆算の仕方を理解し,その計算ができる。	場面をとらえて立式し, $312 \times 3$ の計算の仕方を考える。 ・筆算の仕方をまとめる。	<p>関3位数×1位数(部分積がみな1けた)の筆算の仕方を2位数×1位数の筆算をもとに考えようとしている。 (プリント・観察)</p> <p>知3位数×1位数(部分積がみな1けた)の筆算の仕方を理解している。 (ノート・発表)</p> <p>表3位数×1位数(部分積がみな1けた)の筆算ができる。 (プリント)</p>	<p>知<math>312 \times 3</math>の筆算の仕方を言うことができる。</p> <p>・<math>3 \times 2 = 6</math>の6を一の位に書く。 ・<math>3 \times 1 = 3</math>の3を十の位に書く。 ・<math>300 \times 3 = 900</math>だから, <math>3 \times 3 = 9</math>の9は百の位に書く。</p> <p>表<math>212 \times 4</math>の筆算の仕方が分かり,正確にできる。</p> <p>2 1 2 「四二が8」の8を一の位に書く。 × 4 「四一が4」の4を十の位に書く。 8 4 8 「四二が8」の8を百の位に書く。</p>	<p>知位取り板、部分積を一つ一つ書く筆算形式で考えさせ,手順を理解させる。</p> <p>表<math>212 \times 4</math>の筆算を正しく計算させるために,部分積を一つ一つ書く筆算をするように「それぞれの位の計算の答えを書きましょう」等の助言する。</p>
2	3位数×1位数(一,十の位の数との部分積が2けた)の筆算の仕方を理解し,その計算ができる。	$386 \times 2$ の筆算の仕方を考える。 ・【ドリル的学習】	表3位数×1位数(一,十の位の数との部分積が2けた)の筆算ができる。 (プリント)	<p>表<math>318 \times 3, 291 \times 3, 466 \times 2</math>の筆算の仕方が分かり,正確にできる。</p> <p>主な例 <math>466 \times 2</math> 「二六 12」の2を一の位に書き,1を十の位に繰り上げる。 9 3 2 「二六 12」12に1をたして13。3を十の位に書き,1を百の位に繰り上げる。 「二四が8」8に1をたして9。9を百の位に書く。</p>	表部分積を一つ一つ書く筆算形式と比較させ手順を唱えさせながら繰り上がりを正確に捉えさせて計算させる。
3	3位数×1位数(部分積がみな2けた,及び部分積を加えたときに繰り上がりあり)の筆算の仕方を理解し,その計算ができる。 3位数×1位数の筆算の理解を確実にする。	$937 \times 4, 537 \times 3$ の筆算の仕方を考える。 ・【ドリル的学習】  [ T・T ]	表3位数×1位数(部分積がみな2けた,及び部分積を加えたときに繰り上がりあり)の筆算ができる。 (プリント)	<p>表<math>812 \times 4, 341 \times 7, 647 \times 3, 238 \times 3, 428 \times 4, 875 \times 7</math>の筆算の仕方が分かり,正確にできる。</p> <p>主な例 <math>875 \times 7</math> 「七五 35」の5を一の位に書き,3を十の位に繰り上げる。 6 1 2 5 「七七 49」49に3をたして52。2を十の位に書き,5を百の位に繰り上げる。 「七八 56」56に5をたして61。61の1を百の位に,6を千の位に書く。</p>	表部分積を一つ一つ書く筆算形式と比較させ手順を唱えさせながら繰り上がりを正確に捉えさせて計算させる。

4	学習内容に習熟する。	1～3時までで学習した筆算問題の練習をする。 【ドリル的学習】 [T・T]	表3位数×1位数(繰り上がりなし・あり)の筆算ができる。(プリント・観察)	表3位数×1位数(繰り上がりなし・あり)の筆算の仕方が分かり、正確にできる。 主な例 $\begin{array}{r} 310 \\ \times 8 \\ \hline 2480 \end{array}$ 「八〇が〇」0を一の位に書く。 「八一が八」8を十の位に書く。 「八三 24」4を百の位に、2を千の位に書く。	表3位数×1位数(繰り上がりなし・あり)の筆算を正しく計算させるために、計算手順や繰り上がった数を書く場所を再度確認させる。
5	乗法の結合法則について理解するとともに、3つの数の乗法が1つの式に表せることを理解する。	場面をとらえ、代金の求め方について考え、検討する。 ・3口の乗法の式で表す。 ・3口の乗法の結合法則をまとめる。	考最初に1箱の代金を求めるやり方と、最初に全部のおかしの数を求めるやり方があることをテープ図や言葉の式から考えることができる。(プリント・観察) 表乗法2段階の式を1つの式に表すことができる。(プリント)	考最初に1箱の代金を求める式と、最初に全部のおかしの数を求める式をテープ図や言葉の式から考えることができる。 $60 \times 4 = 240, 240 \times 2 = 480$ $4 \times 2 = 8, 60 \times 8 = 480$ 表60×4×2の計算を、60×(4×2)の考え方で素早く計算することができる。 4×2は暗算でできるから、後の2つを先に計算した方がかんたん。 60×8は、6×8の答えに0を1個つければいいから計算がかんたん。	考テープ図や言葉の式から最初に1箱の代金を求める考えと最初に全部のおかしの数を求める考えがあることに気づかせる。 表3口の乗法で、はじめの2つの数を先に計算するのとあとの2つの数を先に計算するの2種類を計算させ、どちらが計算が大変か考えさせる。
まとめ 2時間 下p.14～15					
1	学習内容に習熟する。 学習内容の理解を確認する。 学習内容の理解を深め、算数への興味を広げる。	「れんしゅう」をする。 【ドリル的学習】 [T・T]	表2,3位数×1位数の計算ができる。(プリント) 関既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。(観察)	表2,3位数×1位数の計算が正確にできる。 関既習事項を活用し、活動に進んで取り組もうとする。	表部分積を一つ一つ書く筆算形式と比較させ手順を唱えさせながら、繰り上がりを正確に捉えさせる。 関チェックポイントを書いたプリントを準備したり、壁に貼ってある紙板書を見させて考えさせる。
2		「たしかめ」をする。 【ドリル的学習】 【チャレンジ】をする。 【ドリル的学習】 [T・T]	関既習事項を活用し、活動に取り組もうとしている。(観察)	関既習事項を活用し、活動に進んで取り組もうとする。	関チェックポイントを書いたプリントを準備したり、壁に貼ってある紙板書を見させて考えさせる。



6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ 2 位数×1位数 (繰り上がりあり) の筆算に, 習熟する。

(2) 本時の評価規準

【表現・処理】 2 位数×1 位数 (繰り上がりあり) の筆算の仕方が分かり, 正確にできる。

(3) 本時の展開

段階	活動内容・学習活動 ( 教師の働きかけ 発問 ・ 児童の反応 )	指導上の留意点
つ か む  10 分	<p>1 前時までの学習内容の想起 前時までに学習した文章題(3題)を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1まい21円の画用紙を, 4まい買いました。代金は いくらですか。(部分積がみな1桁)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1つの辺の長さが18cmの正方形の, まわりの長さ は何cmですか。(一の位の部分積が2桁)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1箱に48このおかしが入った箱が, 3箱あります。 おかしは全部でどこありますか。(部分積がみな2桁)</p> </div> <p>この問題の式はどんな式になりますか。          ・ <math>21 \times 4</math>    ・ <math>18 \times 4</math>    ・ <math>48 \times 3</math>          答えを筆算を使ってもとめましょう。          ・ 84円    ・ 72cm    ・ 144こ          すぐに計算できたものはどれですか。          ・ 繰り上がりがない計算です。          ・ 一の位だけが繰り上がる計算です。          ・ 一の位と十の位が繰り上がる計算は難しかったです。          繰上りのある筆算の計算も, 正しく早くできるように練習しましょう。</p> <p>2 学習課題の把握 学習課題を把握させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>くり上がりのあるかけ算の筆算を, 正しく できるようにしよう。</p> </div> <p>3 計算練習の見通し 計算練習での各自の見通し(注意点)をもたせる。 正しく計算するために, どんなどころに注意して計算したいですか。          ・ 九九を正しく使う。          ・ 繰り上がりの数のたし方に気をつける。          ・ 計算をしっかりとる。          ・ 計算の手順をたしかめる。</p>	<p>前時までに学習した問題 3問を解かせ, 各自の計算練習上の問題点を意識させる。</p> <p>計算手順をしっかり覚え, 間違いを減らし, 計算が手際よくできるようになりたいと, 本時の課題に対して意欲をもたせる。</p> <p>計算練習で各自が見通し (注意点)をもって取り組めるように, どこに気をつけて計算するかを全員で確認する。</p>

し  
ら  
べ  
る  
20  
分

4 2位数×1位数のかけ算の筆算の計算練習

【18分間】 【ドリルの学習】

計算練習に取り組みませ、筆算の習熟を図る。  
計算練習を始めましょう。まだすらすらできない人は、  
特訓問題で、正しく計算ができるように特訓します。す  
らすらできるようになってきた人は、特訓問題かチャレ  
ンジ問題をやりましょう。正しく計算できるように、が  
んばりましょう。

《計算練習の問題の内容》

型計算問題 一の位の部分積が2桁

間違えたら **特訓問題** 型問題(計算・文章題)

間違えなかったら **特訓問題**または、**チャレンジ問題**(計算・文章題)

型計算問題 十の位の部分積が2桁

間違えたら **特訓問題** 型問題

間違えなかったら **特訓問題**または、**チャレンジ問題**

型計算問題 部分積がみな2桁

間違えたら **特訓問題** 型問題

間違えなかったら **特訓問題**または、**チャレンジ問題**

**ゴール**

【計算の習熟における具体の評価規準と支援】

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する場合の手立て
<p>表 2位数×1位数のいろ いろな型の筆算の仕方が 分かり、正しく早く答え を出すことができる。</p> <p>※ 「チャレンジ問題 ~ 」に取り組みませ、チェ ックポイントの言葉等を ヒントに、正しく早く計 算させる。 の問題まで終わったら 、「特訓問題」にも挑戦 させ、計算能力を高める。</p>	<p>表 2位数×1位数のいろ いろな型の筆算の仕方が 分かり、正しく計算する ことができる。</p> <p>※ 「特訓問題 ~」に 取り組みませ、部分積を 書く筆算形式等を用いて 、自力で正しく計算さ せる。 終わったら、「チャレンジ 問題」に取り組みませ、 計算手順の習熟を図る。</p>	<p>※ 「特訓問題」に 取り組みませ、部分積を 書く筆算形式を用いて、 繰り上がった数の処理 の仕方を確認させなが ら計算させる。</p>

それぞれの型のポイント  
がきちんとできたかを各自  
でチェックするカードを持  
たせ、しっかりできたか確か  
めながら取り組ませる。

(A)や(B)の児童で、  
**特訓問題**と**チャレンジ問題**  
が時間的に困難と感じると  
きは、どちらか片方でよいこ  
とにする。

(A)や(B)の児童は、  
自分で 付けをし、どどん  
問題に挑戦させ、意欲をもて  
るようにする。

<p>まとめ 6分</p>	<p>5 計算結果の発表と誤答傾向の把握 正しく計算できたか、誤答傾向の把握をする。(挙手確認) 計算するときに、正しくできるようになったことを発表しましょう。 ・九九が正しくできた。 ・繰り上がりの数のたし方が正しくできた。 ・計算が正しくできた。</p>	<p>児童それぞれが気をつける点(誤答傾向)について、意識して取り組んでいたかを再確認させる。</p> <p>机間巡視で、誤答傾向にある計算があった場合は、それを取り上げ、計算手順を全員で再確認し、定着を図る。</p>								
<p>ひろめる 9分</p>	<p>6 練習問題 計算プリントに取り組みせ、筆算のさらなる習熟を図る。 計算が正しくできるようになったか確かめましょう。(5問・6分間) 【計算プリントにおける具体の評価規準と支援】</p> <table border="1" data-bbox="279 840 1422 1379"> <thead> <tr> <th data-bbox="279 840 662 884">十分満足できる(A)</th> <th data-bbox="662 840 1023 884">おおむね満足できる(B)</th> <th data-bbox="1023 840 1422 884">努力を要する場合の手立て</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="279 884 662 1075"> <p>表 2位数×1位数のいろいろな型の筆算の仕方が分かり、正しく早く答えを出すことができる。</p> </td> <td data-bbox="662 884 1023 1075"> <p>表 2位数×1位数のいろいろな型の筆算の仕方が分かり、正しく計算することができる。</p> </td> <td data-bbox="1023 884 1422 1379" rowspan="2"> <p>※ 「練習問題」に取り組みせ、部分積を書く筆算形式を用いて、繰り上がった数の処理の仕方を確認させながら、問題を解かせる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="279 1075 662 1379"> <p>※ くり上がりに気をつけさせながら、手際よく全問を解かせる。 さらに、裏面の問題にも取り組みせ、計算能力を高める。</p> </td> <td data-bbox="662 1075 1023 1379"> <p>※ 「練習問題」に取り組みせ、くり上がりに気をつけさせながら、3問を解かせる。 終わったら、残りの問題にも取り組みせ、計算能力を確かにする。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する場合の手立て	<p>表 2位数×1位数のいろいろな型の筆算の仕方が分かり、正しく早く答えを出すことができる。</p>	<p>表 2位数×1位数のいろいろな型の筆算の仕方が分かり、正しく計算することができる。</p>	<p>※ 「練習問題」に取り組みせ、部分積を書く筆算形式を用いて、繰り上がった数の処理の仕方を確認させながら、問題を解かせる。</p>	<p>※ くり上がりに気をつけさせながら、手際よく全問を解かせる。 さらに、裏面の問題にも取り組みせ、計算能力を高める。</p>	<p>※ 「練習問題」に取り組みせ、くり上がりに気をつけさせながら、3問を解かせる。 終わったら、残りの問題にも取り組みせ、計算能力を確かにする。</p>	<p>各自が、課題をもって、正しく計算しようという意欲をもてるようにする。</p>
十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する場合の手立て								
<p>表 2位数×1位数のいろいろな型の筆算の仕方が分かり、正しく早く答えを出すことができる。</p>	<p>表 2位数×1位数のいろいろな型の筆算の仕方が分かり、正しく計算することができる。</p>	<p>※ 「練習問題」に取り組みせ、部分積を書く筆算形式を用いて、繰り上がった数の処理の仕方を確認させながら、問題を解かせる。</p>								
<p>※ くり上がりに気をつけさせながら、手際よく全問を解かせる。 さらに、裏面の問題にも取り組みせ、計算能力を高める。</p>	<p>※ 「練習問題」に取り組みせ、くり上がりに気をつけさせながら、3問を解かせる。 終わったら、残りの問題にも取り組みせ、計算能力を確かにする。</p>									
	<p>答え合わせをして、正しく計算できるようになったか確かめましょう。</p> <p>7 学習の振り返り ふりかえりカードに記入させ、学習を振り返らせる。 今日の学習を振り返りましょう。 ・がんばれた。 ・筆算の計算の仕方がよく分かった。 ・計算が正しくできるようになった。</p> <p>8 次時の学習予告 次の時間の学習内容を知らせる。</p>	<p>ふりかえりカードに、具体的に記入させる。</p>								

(4) 板書計画

<p>もんだい</p> <p>部分積が みな1桁</p>	<p>一の位の 部分積が2 桁</p>	<p>かだい</p> <p>くり上がりのあるかけ算の 筆算を、正しくできるよう なろう。</p>	<p>(学習の振り返り)</p>
<p>部分積が みな2桁</p>	<p>誤答傾向にある計算</p>		
<p>みとおし</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・九九を正しく使う。</li><li>・繰り上がりの数のたし方をきちんとする。</li><li>・計算をしっかりとる。</li><li>・計算の手順をたしかめる。</li></ul>			